

農場等管理業務処理要領の取扱いについて（案）

◎平日用

○鹿島寮管理業務（夏期間 4～10月）

No. 1

| 業務場所 | 業務内容 | 作業手順 | 作業回数・留意点等 |
|-----------|------------------------|--|---|
| 鹿島寮及び周辺道路 | ・除草（敷地内及び周辺道路脇） | ・鹿島寮敷地内及び周辺道路脇の雑草を除去する。 ・草刈機等により、草丈10cm以内を目安に管理する。なお、作業開始前に小石等が飛散しないよう除去しておく。 ・刈り取った草は、ブロワ等で集塵した後、所定の場所に廃棄する。 ・予め指定された場所について除草剤を散布する。 | ・適宜行う。 ・除草剤の散布は、舗装縁石部分及び砂利部分、ゴミステーション周辺とし、除草効果の状況を見ながら適宜行う。 ★作業箇所：平面図 1 で表示 |
| | ・剪定、剪定枝片づけ | ・敷地内の樹木の剪定及び剪定枝の片づけを行う。なお、剪定枝は所定の場所に廃棄する。 | ・適宜行う。 ★作業箇所：平面図 2 で表示 |
| | ・落葉、枝、倒木の収集及び運搬 | ・鹿島寮敷地内及び周辺道路の落葉、枝及び倒木を収集し、所定の場所に廃棄する。 | ・適宜行う。 ★作業箇所：平面図 3 で表示 |
| | ・病虫害防除 | ・見本園に病虫害が発生した場合、殺虫剤等で防除する。 | ・病虫害が発生した場合に行う。 ★作業箇所：平面図 3 で表示 |
| | ・ルーフドレンの清掃 | ・ルーフドレンの目皿等に堆積した枝葉や土砂を除去する。 ・除去した枝葉や土砂は、所定の場所に廃棄する。 | ・毎月1回以上行う。 ★作業箇所：平面図 4-1、4-2 で表示 |
| | ・ファンルーム空調設備フィルターの清掃・交換 | ・ファンルーム内にある空調機器フィルターボックス内にあるフィルターを清掃し、交換する。 | ・4、6、8、10月に行う。 ★作業箇所：平面図 4-1 で表示 |

○温室等管理業務（夏期間 4月～10月）

No. 2-1

| 業務場所 | 業務内容 | 作業手順 | 作業回数・留意点等 |
|------------------------|-------------------|--|--|
| 温室 各ビニールハウス | ・除草（温室・ハウス内及び周辺） | ・温室内及びハウス内の雑草を除去する。 ・室外は草刈機等により、草丈10cm以内を目安に管理する。なお、作業開始前に小石等が飛散しないよう除去しておく。 ・刈り取った草は、ブロワ等で集塵した後、所定の場所に廃棄する。 | ・適宜行う。 ★作業箇所：各温室・ビニールハウス内及び平面図 1 で表示した箇所 |
| | ・草花温室の煙突点検口内の清掃 | ・煙突点検口のフタを外し、内部の灰や枯れ葉等をスコップ等で除去した後、清水で洗浄する。 | ・10月に行う。 ★作業箇所：草花温室屋外煙突 |
| 畑（畑（農業科学科）、苗畑、野菜畑、飼料畑） | ・除草（畑内及び周辺） | ・畑内及び周辺の雑草を除去する。なお、作業開始前に小石等が飛散しないよう除去しておく。 ・除去した草は、ブロワ等で集塵した後、所定の場所に廃棄する。 | ・適宜行う。 ★作業箇所：平面図 1 で表示 |
| 水田 | ・除草（あぜ及び周辺、取水口周辺） | ・水田のあぜ及びその周辺、ガビノ沢川取水口（北斗市向野107番地3、地権者からの借受地）周辺の雑草を除去する。 ・あぜ及び周辺の除草については草刈機等を使用し、草丈10cm以内を目安に管理する。なお、作業開始前に小石等が飛散しないよう除去しておく。 ・取水口周辺の除草については草刈機等を使用し、草丈40cm以内を目安に管理する。ただし、機器等を傷めないよう2回に分けて行うこと。 ・あぜ及び周辺の刈り取った草は、ブロワ等で集塵した後、所定の場所に廃棄する。 | ・適宜行う。 ★作業箇所：平面図 1 で表示 ・適宜行う。農免農道沿いから取水口まで行う。 ★作業箇所：校地外。平面図 5 で表示 |

| | | | |
|-----|---------------|---------------------------------------|--------|
| 果樹園 | ・下草刈り（果樹園内） | 園内の下草刈りを乗用ローモアで行う。作業は小石などの飛散しないように行う。 | ・適宜行う。 |
| | ・剪定枝片付け（果樹園内） | 所定の場所に集積させる（リンゴ・ナシ・ブドウ）。 | ・適宜行う。 |
| | ・剪定（果樹園外周） | 草刈り機で適宜行う。 | ・適宜行う。 |

○温室等管理業務（夏期間４月～１０月）

No. 2-2

| 業務場所 | 業務内容 | 作業手順 | 作業回数・留意点等 |
|------------------------------|---------------------|--|--|
| その他（見本林、見本園、枝捨場、桜公園、生垣、街路樹等） | ・除草 | <ul style="list-style-type: none"> ・見本林、見本園、枝捨場、桜公園、生垣・街路樹周辺等の雑草を除去する。なお、作業開始前に小石等が飛散しないよう除去しておく。 ・見本園、桜公園、生垣・街路樹周辺等については、草刈機等を使用し、草丈10cm以内を目安に管理する。 ・見本林、グラウンド法面は草刈機等を使用し、草丈30cm以内を目安に管理する。ただし、機器等を傷めないよう2回に分けて行うこと。 ・枝捨場周辺は草刈機等を使用し、草丈40cm以内を目安に管理する。ただし、機器等を傷めないよう2回に分けて行うこと。 ・除去した草は、ブロワ等で集塵した後、所定の場所に廃棄する。 | <ul style="list-style-type: none"> ・適宜行う。 ・除草剤の散布は、通路部分及び砂利部分のみとし、除草効果の状況を見ながら適宜行う。 ・適宜行う。 ・適宜行う。 <p>★作業箇所：平面図１で表示</p> |
| | ・剪定、剪定枝片付け | <ul style="list-style-type: none"> ・見本園、桜公園、生垣、街路樹の剪定を脚立、電動トリマー等を用いて行い、剪定枝を一輪車等で収集し、枝捨場等に廃棄する。 ・市道に面した街路樹については、枝葉が敷地内を超えないよう管理する。 | <ul style="list-style-type: none"> ・枝葉の伸長状況を見ながら適宜行う（生垣については2回以上）。 <p>★作業箇所：平面図２で表示</p> |
| | ・落葉、枝、倒木の収集及び運搬 | <ul style="list-style-type: none"> ・見本林、見本園、桜公園、街路樹の落葉、枝及び倒木を収集し、所定の場所に廃棄する。 | <ul style="list-style-type: none"> ・適宜行う。 <p>★作業箇所：平面図３で表示</p> |
| | ・病虫害防除 | <ul style="list-style-type: none"> ・見本園に病虫害が発生した場合、殺虫剤等で防除する。 | <ul style="list-style-type: none"> ・病虫害が発生した場合に行う。 <p>★作業箇所：平面図３で表示</p> |
| 農場内道路、実習棟周辺 | ・除草（道路脇、実習棟周辺） | <ul style="list-style-type: none"> ・草刈機等を使用し、草丈10cm以内を目安に管理する。なお、作業開始前に小石等が飛散しないよう除去しておく。 ・除去した草は、ブロワ等で集塵した後、所定の場所に廃棄する。 | <ul style="list-style-type: none"> ・適宜行う。 <p>★作業箇所：平面図１で表示</p> |
| | ・落葉、枝、倒木の収集及び運搬 | <ul style="list-style-type: none"> ・道路及び周辺の落葉や枝及び倒木を一輪車等により収集し、所定の場所に廃棄する。 | <ul style="list-style-type: none"> ・適宜行う。 <p>★作業箇所：平面図３で表示</p> |
| | ・降雨等で道路に流出した土砂の除去 | <ul style="list-style-type: none"> ・降雨等で農場内道路に流出した土砂を、十分に乾いた後、ブロワやスコップ等で除去する。 | <ul style="list-style-type: none"> ・流出した土砂が乾燥後に行う。 <p>★作業箇所：平面図６で表示</p> |
| | ・排水溝清掃 | <ul style="list-style-type: none"> ・土砂等が堆積した箇所を清掃する。なお除去した土砂等は、所定の場所に廃棄する。 | <ul style="list-style-type: none"> ・適宜行う。 <p>★作業箇所：平面図６で表示</p> |
| 上記農場 | ・施設設備等の異常有無確認、小破修繕等 | <ul style="list-style-type: none"> ・施設設備及び農場内に異常を発見したときは、直ちに業務担当員等に連絡するとともに、業務報告書に記録する。また、軽微な不具合や小規模な破損の調整、修繕を行う。 | <ul style="list-style-type: none"> ・適宜行う。 |
| | ・使用機器の点検、整備 | <ul style="list-style-type: none"> ・業務で使用している機器類の点検や清掃、整備を行う。 | <ul style="list-style-type: none"> ・適宜行う。 |

| 業務場所 | 業務内容 | 作業手順 | 作業回数・留意点等 |
|-----------|--------------------------------|---|--|
| 鹿島寮及び周辺道路 | ・ルーフドレンヒーターの設置及び撤去 | ・ルーフドレン3箇所、ドレンヒーターを設置し、降雪期終了後に撤去する。 | ・設置は12月、撤去は3月に行う。 ★作業箇所：平面図4-1、4-2で表示 |
| | ・ルーフドレンの清掃及びルーフドレン周辺の除雪 | ・ルーフドレンの目皿等に堆積した枝葉や土砂を除去する。また必要に応じて、ドレン周辺を除雪する。 ・除去した枝葉や土砂は、所定の場所に廃棄する。 | ・毎月1回以上行う。 ★作業箇所：平面図4-1、4-2で表示 |
| | ・ファンルーム空調設備フィルターの清掃・交換 | ・ファンルーム内にある空調機器フィルターボックス内にあるフィルターを清掃し、交換する。 | ・12、2月に行う。 ★作業箇所：平面図4-1で表示 |
| | ・除排雪（除雪車が入らない通路及び出入口周辺、指定した道路） | ・通路及び出入口周辺について、除雪車が処理できない部分の除雪を行う。 ・除雪車が入らない程度の降雪があった場合や、日中に降雪（15cm以上）があった場合は、出入りに支障がないよう適宜除雪する。 ・堆積した雪により狭くなった道路について、道路脇の堆雪をトラクターを使用して通行及び実習の妨げにならない場所に排雪する。 | ・適宜行う。 ・浄化槽の上に堆雪しないよう留意する。 ★作業箇所：平面図7で表示 |
| | ・落葉、枝、倒木の収集及び運搬 | ・鹿島寮敷地内及び周辺道路の落葉、枝及び倒木を収集し、所定の場所に廃棄する。 | ・適宜行う。 ★作業箇所：平面図3で表示 |
| | ・雪落とし（枝葉） | ・敷地内にある樹木、生垣の枝葉に堆積した雪を雪落とし用の棒等で落とす。 | ・堆雪状況を見て、適宜行う。 ★作業箇所：平面図8で表示 |
| | ・堆雪崩し | ・敷地内に堆積した雪山を崩し、また氷を割るなどして雪解けを促す。 | ・雪解けの状況見て適宜行う。 ★作業箇所：平面図7で表示 |
| | ・清掃用具の準備及び格納 | ・物置に格納されている清掃用具（竹ぼうき、竹熊手等）を玄関前に準備し、降雪期前に物置に格納する。 | ・設置は3～4月、格納は11月に行う。 |
| | ・バスケットボール用ゴールの設置及び格納 | ・物置に格納されているバスケットボール用ゴール2基を駐車場に設置し、降雪期前に物置に格納する。 | ・転倒防止のため重し（砂袋等）を設置する。 ・設置は3～4月、格納は11月に行う。 |
| | ・除雪用具の準備及び格納 | ・物置に格納されている除雪用具（スコップ、ブロッカー等）を玄関に準備し、降雪期終了後に物置に格納する。 | ・準備は11月、格納は3～4月に行う。 |

| 業務場所 | 業務内容 | 作業手順 | 作業回数・留意点等 |
|------------------------------|----------------------------|---|---|
| 温室 | ・除草（温室・ハウス内） | ・温室内及びハウス内の雑草を除去する。 ・除草した草は、所定の場所に廃棄する。 | ・適宜行う。 ★作業箇所：各温室、ビニールハウス |
| 各ビニールハウス | ・除排雪（出入口及び施設周辺） | ・出入口及び施設周辺について、除雪車が処理できない部分の除雪を行う。また、ビニールハウス周辺については、積雪が側面直管パイプ以下となるよう管理し、温室周辺については、積雪がガラス部分にかからないよう管理する。 ・除雪車が入らない程度の降雪があった場合や、日中に降雪（15cm以上）があった場合は、出入りに支障がないよう適宜除雪する。 | ・適宜行う。 ★作業箇所：平面図7で表示 |
| | ・雪落とし（各ビニールハウス） | ・ビニールハウス上部に堆積した雪を雪落とし用の棒等で落とす。 | ・積雪の状況を見て適宜行う。 ★作業箇所：各ビニールハウス |
| 果樹園 | ・除雪 | 果樹収納調整室周辺からブドウ温室までの除雪を行う。ブドウ温室は側窓が埋まらないようにする。果樹収納調整室は屋根からの落雪を除雪する。 | ★作業箇所：平面図7で表示 |
| | ・剪定 | ・新梢・、古枝の切除（リンゴ・ナシ・ブドウ） | ・適宜行う。 |
| その他（見本林、見本園、枝捨場、桜公園、生垣、街路樹等） | ・落葉、枝、倒木の収集及び運搬 | ・見本林、見本園、桜公園、生垣・街路樹について落葉、枝及び倒木を収集し、枝捨場等に廃棄する。 | ・適宜行う。 ★作業箇所：平面図3で表示 |
| | ・樹木の冬囲い及び冬囲い撤去 | ・見本園の予め指定した樹木について、ロープやムシロ等を用いて冬囲いを行う。 ・冬囲いをした樹木について、降雪期終了後冬囲いを除去する。 | ・11～12月に行う ・3～4月に行う。★作業箇所：平面図8で表示 |
| | ・除排雪（指定した箇所） | ・見本園、生垣周辺を、樹木の雪落とし業務に支障がない程度に除排雪する。 | ・適宜行う。 ★作業箇所：平面図7で表示 |
| | ・雪落とし（枝葉） | ・見本園、生垣の樹木の枝葉に堆積した雪を、雪落とし用の棒等で落とす。 | ・雪の堆積状況により適宜行う。 ★作業箇所：平面図8で表示 |
| 農場内道路、実習棟周辺 | ・落葉、枝の収集及び運搬 | ・道路及び実習棟周辺の落葉や枝を収集し、所定の場所に廃棄する。 | ・適宜行う。 ★作業箇所：平面図3で表示 |
| | ・除排雪（出入口及び施設周辺、道路脇、指定した道路） | ・除雪車が入らない程度の降雪があった場合や、日中に降雪（15cm以上）があった場合は、適宜除雪する。 ・実習棟周辺について、積雪が窓や出入口を塞がないよう除雪する。 ・堆積した雪により狭くなった道路について、道路脇の堆雪をトラクターを使用して通行及び実習の妨げにならない場所に排雪する。 | ・適宜行う。 ★作業箇所：平面図7で表示 |
| | ・農場内スノーボールの設置及び撤去 | ・農場内の指定した箇所にスノーボールを設置し、降雪期終了後に撤去する。 | ・設置は11月、撤去は3～4月に行う。 ★作業箇所：平面図8で表示 |
| | ・屋根雪下ろし（平屋建の指定した施設） | ・指定した平屋建の施設屋根について、落雪の危険及び施設躯体への過度の負荷が無いよう、屋根に上がりスコップ等で積雪に切れ目を入れる。また、屋根下に雪を落とせる場合は落とす。 | ・雪の堆積状況を見て適宜行う。また、安全確保のため必ず安全ベルト及びヘルメットを着用して行い、2人1組で行う。 ★作業箇所：平面図10で表示 |
| | ・堆雪崩し | ・道路脇に堆積した雪山を崩し、また氷を割るなどして雪解けを促す。 | ・雪解けの状況を見て適宜行う。 ★作業箇所：平面図7で表示 |
| 上記農場 | ・施設設備等の異常有無確認、小破修繕等 | ・施設設備及び農場内に異常を発見したときは、直ちに業務担当員等に連絡するとともに、業務報告書に記録する。また、軽微な不具合や小規模な破損の調整、修繕を行う。 | ・適宜行う。 |
| | ・使用機器の点検、整備 | ・業務で使用している機器類の点検や清掃、整備を行う。 | ・適宜行う。 |

| 業務場所 | 業 務 内 容 | 作 業 手 順 | 作業回数・留意点等 |
|------------------------|--|--|---------------------------------------|
| 新牛舎（乳牛） | ・朝の搾乳準備（ミルカー前洗浄、残飼除去、ウォーターカップ° 清掃、給餌、除糞） | ・ミルカーを別紙7「搾乳の手順」に従って洗浄する。 ・餌槽の残飼をほうき等で除去し、ウォーターカップに付着したゴミや汚れを除去する。 ・飼料給与表に記載された飼料を規定量給与する。 ・飼料保管場所から飼料を容器に補充する。 ・フォーク、スコップ、竹ぼうき等を使用し、牛床の除糞を行い、バーンクリーナーにより収集する。 | ・飼料給与時に行う。またウォーターカップ° の凍結や破損がないか確認する。 |
| | ・朝の搾乳 | ・別紙7「搾乳の手順」に従い、ミルカーにより搾乳する。 ・乳量を記録し、バルククーラーに生乳を入れる。 | |
| | ・朝の搾乳後片付け | ・別紙7「搾乳の手順」に従い、ミルカーを洗浄する。 | |
| | ・牛床、牛房、通路等清掃 | ・牛床、牛房及び通路を掃き、わらくず等をバーンクリーナーにより収集する。 ・舎内に発生しているクモの巣について除去する。 | ・作業は牛の放牧後に行う。 ・適宜行う。 |
| | ・乾草、敷料運搬及び補充 | ・乾草、敷料を乾草収納庫より運搬し、補充する。 | ・作業は牛の放牧後に行う。 ・一輪車等を使用して行う。 |
| | ・朝給餌時の乳牛への薬剤の投与 | ・指定した乳牛について、獣医師から処方された所定の量の薬剤（経口投与できるものに限る。）を投与する。 | ・獣医師から処方された場合のみ、朝の給餌の際に行う。 |
| | | | |
| 新羊豚舎（豚は5～10月のみ、めん羊は通年） | ・餌槽清掃（残餌除去） | ・餌槽にある残飼をほうき、ちり取りにより除去し、一輪車等で所定の場所に廃棄する。 | ・朝、給餌前に行う。 |
| | ・豚房、羊房清掃 | ・豚房の除糞、通路の清掃はスコップ等で行い、糞等は一輪車等で所定の場所に廃棄する。 | ・朝、給餌中又は後に行う。 |
| | ・朝給餌 | ・予め指定された飼料を計量し、給与する。 ・飲み水を補給する。バケツの水がひどく汚れているときは、水を換える。 | ・朝給餌は7時を目途に行う。 |

| 業務場所 | 業 務 内 容 | 作 業 手 順 | 作業回数・留意点等 |
|------|-----------------------|--|---|
| 各畜舎 | ・除草（施設周辺） | ・施設周辺について草刈機等により、草丈10cm以内を目安に管理する。なお、作業開始前に小石等が飛散しないよう除去しておく。 ・刈り取った草は、ブロワ等で集塵した後、所定の場所に廃棄する。 | ・適宜行う。 ★作業箇所：平面図 1 で表示 |
| | ・除排雪（出入口及び施設周辺） | ・出入口及び施設周辺について、除雪車が処理できない箇所の除雪を行う。（12～3月） ・堆積した雪を除雪機等を使用して通行及び実習の妨げにならない場所に排雪する。 | ・適宜行う。 ★作業箇所：平面図 7 で表示 |
| | ・屋根雪下ろし（平屋建の指定した施設のみ） | ・指定した平屋建の施設屋根について、落雪の危険及び施設躯体への過度の負荷が無いよう、屋根に上がりスコップ等で積雪に切れ目を入れる。また、屋根下に雪を落とせる場合は落とす。（12～3月） | ・雪の堆積状況を見て適宜行う。また、安全確保のため必ず安全ベルト及びヘルメットを着用して行い、2人1組で行う。 ★作業箇所：平面図10で表示 |
| | ・施設設備等の異常有無確認、小破修繕等 | ・施設設備及び農場内に異常を発見したときは、直ちに業務担当員等に連絡するとともに、業務報告書に記録する。また、軽微な不具合や小規模な破損の調整、修繕を行う。 | ・適宜行う。 |

農場等管理業務処理要領の取扱いについて（案）

◎祝日・週休日等用

○温室等管理業務（通年）

No. 6

| 業務場所 | 業務内容 | 作業手順 | 作業回数・留意点等 |
|----------------|----------------------|--|---|
| 温室 各ビニールハウス | ・除草（施設周辺） | ・施設周辺について草刈機等により、草丈10cm以内を目安に管理する。なお、作業開始前に小石等が飛散しないよう除去しておく。 ・刈り取った草は、ブロワ等で集塵した後、所定の場所に廃棄する。 | ・適宜行う。 ★作業箇所：平面図1で表示 |
| | ・灌水 | ・温室及びビニールハウス内の予め指定された鉢やポット苗等に水をやる。 ・各ビニールハウス内の草花等に水をやる。 | ・指定された要領で灌水する。 |
| | ・換気及び温度管理 | ・温室内及びビニールハウス内の温度を、換気扇及び天窓、出入口、裾ビニールの開閉等により温度を調節する。 ・灯油タンクの燃料が無くなりそうな場合は、予備のポリタンクから給油する。（12～3月） | ・天候により適宜行う。 ・温室内及びハウス内が25℃を超えないよう留意する。 ・適宜行う。 |
| | ・施設設備点検 | ・施設、設備（ボイラー、換気扇、温風機等）に異常を発見したときは、直ちに業務担当員等に連絡するとともに、業務報告書に記録する。 | ・常に温室内、ハウス内が異常な高温や低温になっていないか注意する。 ・最高最低温度計の指示する値に注意する。 |
| | ・見回り、温室戸締り | ・業務終了前に温室及び各ビニールハウスを巡回し、異常を発見したときは、直ちに業務担当員等に連絡するとともに、業務報告書に記録する。 ・見回り終了後、温室及び各ビニールハウスの戸締りを行う。 | ・戸締りは17:00を目途に行う。 ★作業箇所：平面図11で表示 |
| | ・除排雪（出入口及び施設周囲） | ・出入口及び施設周辺について、除雪車が処理できない部分の除排雪を行う。また、ビニールハウス周辺については、積雪が側面直管パイプ以下となるよう管理し、温室周辺については、積雪がガラス部分にかからないよう管理する。（12～3月） | ・適宜行う。 ★作業箇所：平面図12で表示 |
| | ・雪落とし（各ビニールハウス、枝葉等） | ・ビニールハウス上部及び枝葉に堆積した雪を雪落とし用の棒等で落とす。（12～3月） | ・積雪の状況を見て適宜行う。 ★作業箇所：各ビニールハウス |
| 畑（野菜畑） | ・灌水 | ・予め指定された苗、作物等にホース等を使用して水をやる。 | ・1日に1回程度表土の乾燥状態を見ながら行う。 ★作業箇所：平面図11で表示 |
| 水田 | ・見回り | ・水田に異常がないか見回り、異常を発見したときは、直ちに業務担当員等に連絡するとともに、業務報告書に記録する。（5～9月） | ・午前と午後の2回行う。 ★作業箇所：平面図11で表示 |
| 実習棟周辺 | ・除排雪（指定した施設の出入口及び周辺） | ・指定した施設の出入口及び周辺について、除雪車が処理できない部分の除排雪を行う。（12～3月） | ・施設への出入りに支障が無いよう適宜行う。 ★作業箇所：平面図12で表示 |

○温室等管理業務（水稻育苗、4～6月）

No. 7

| 業務場所 | 業務内容 | 作業手順 | 作業回数・留意点等 |
|-------------------------------|-----------|---|--|
| ビニールハウス （水稻育苗1、 水稻加温1棟） | ・灌水 | ・加温ハウス内のタンクから育苗ハウス内のスプリンクラーにホースを接続し、一輪車上のポンプを使って灌水する。 ・育苗ハウス内の育苗箱に適量（培土が隠れる程度）をスプリンクラーにより灌水する。 | ・朝7時を目途に灌水する。晴れた日の日中や夕方に灌水しないよう留意する。 ・水温は10℃以上25℃以下となるよう留意する。 |
| | ・換気及び温度管理 | ・育苗ハウス内の温度を、出入口、裾ビニールの開閉等により温度を調節する。 | ・ハウス内の温度は20～25℃に保つよう注意する。 ・風の強い日は風が苗に当たらないよう留意する。 |
| | ・施設設備の点検 | ・施設、設備（スプリンクラー、ポンプ等）に異常を発見したときは、直ちに業務担当員等に連絡するとともに、業務報告書に記録する。 | ・常にハウス内が異常な高温や低温になっていないか注意する。 ★作業箇所：水稻育苗ハウス、水稻加温ハウス |

○温室等管理業務（畑作育苗、4～5月）

No. 8

| 業務場所 | 業務内容 | 作業手順 | 作業回数・留意点等 |
|---------------------|-----------|---|---|
| ビニールハウス （畑作育苗1棟） | ・灌水 | ・コンテナ内の種イモ（ジャガイモ）に水滴がかからないよう、夕刻にムシロで被覆を行い、朝に被覆を除去する。 ・育苗ハウス内のポット苗（カボチャ）に、培土の乾燥状況を見ながら適量をホース等により灌水する。 | ・朝7時を目途にムシロを除去し、夕方17:00を目途にムシロをかける。 ・苗の成長度合いにより灌水量を調節する。 |
| | ・換気及び温度管理 | ・育苗ハウス内の温度を、出入口、裾ビニールの開閉等により温度を調節する。 | ・天候により適宜行う。 ・常にハウス内が異常な高温や低温になっていないか注意する。 ★作業箇所：畑作育苗ハウス |

○温室等管理業務（園芸福祉科野菜育苗、2～5月）

No. 9

| 業務場所 | 業務内容 | 作業手順 | 作業回数・留意点等 |
|---------------|-----------|--|--|
| 温室（水耕、野菜、レキ耕） | ・灌水 | ・温室及びビニールハウス内の予め指定されたポット苗、育苗箱等に水をやる。 | ・指定された要領で灌水する。 |
| | ・換気及び温度管理 | ・温室内及びビニールハウス内の温度を、換気扇や温風機の操作及び天窓、内ビニール、出入口、裾ビニールの開閉等により温度を調節する。 | ・天候により適宜行う。 |
| | ・施設設備の点検 | ・施設、設備（ボイラー、換気扇、温風機等）に異常を発見したときは、直ちに業務担当員等に連絡するとともに、業務報告書に記録する。 | ・常に温室内、ハウス内が異常な高温や低温になっていないか注意する。 ★作業箇所：水耕温室、野菜温室、レキ耕温室 |

○温室等管理業務（園芸福祉科野菜育苗、3～5月）

No. 10

| 業務場所 | 業務内容 | 作業手順 | 作業回数・留意点等 |
|----------------------|-----------|--|--|
| ビニールハウス （園芸福祉科2棟） | ・灌水 | ・ビニールハウス内の予め指定されたポット苗、育苗箱に水をやる。 | ・指定された要領で灌水する。 |
| | ・換気及び温度管理 | ・ビニールハウス内の温度を、換気扇や温風機の操作及び出入口、裾ビニールの開閉等により温度を調節する。 | ・ハウス内の温度が25℃を超えないよう留意する。 |
| | ・施設設備の点検 | ・施設、設備（換気扇、温風機等）に異常を発見したときは、直ちに業務担当員等に連絡するとともに、業務報告書に記録する。 | ・常に温室内、ハウス内が異常な高温や低温になっていないか注意する。 ★作業箇所：生活2～4号ハウス |

| 業務場所 | 業 務 内 容 | 作 業 手 順 | 作業回数・留意点等 |
|------------------------|---|---|---|
| 新牛舎（乳牛） | ・朝夕の搾乳準備（ミルカー前洗浄、残飼除去、ウォーターカップ清掃、給餌、除糞） | ・搾乳を行う前に次の手順で準備作業を行う。 ①ミルカーを別紙7「搾乳の手順」に基づき前洗浄する。 ②餌槽にある残飼を竹ぼうき等により除去し、バークリーナーに収集する。 ③予め牛（成牛、育成牛、子牛）毎に指定された飼料給与及び哺乳をする。 ④牛床の除糞はフォーク、スコップ、竹ぼうき等を使用し、バークリーナーに収集する。 | ・午前は5時20分までに準備作業を完了する。 ・午後は15時50分までに準備作業を完了する。 |
| | ・朝夕の搾乳 | ・搾乳の時は、殺菌剤液による手指の消毒を行う。 ・搾乳する前に、前搾りとして、手で3～4回乳を搾り出し、乳頭を清拭する。 ・予め指定された牛について搾乳し、それぞれの乳量を所定の記録簿等に記入する。 ・搾乳終了後、乳頭のディッピングを行う。 | ・搾乳は1日2回行い、午前は6時00分まで、午後は16時30分までに完了する。 |
| | ・朝夕の搾乳後片付け（ミルカー後洗浄） | ・搾乳後は、ミルカーを「搾乳の手順」に基づき後洗浄する。 | |
| | ・健康状態観察 | ・食欲の有無等、健康状態を観察する。 | ・異常がある場合は直ちに業務担当員等へ報告する。 |
| | ・通路等清掃 ・乾草、敷料運搬及び補充 | ・次の手順で清掃作業及び乾草・敷料補充を行う。 ①竹ぼうき等により通路を掃き、わらくず等をバークリーナーにより収集する。 ②牛床の除糞は、フォーク、スコップ、竹ぼうき等を使用し、バークリーナーにより収集する。 ③飲み水について、水が出ているか、ひどく汚れていないか、ウォーターカップが壊れていないかをチェックし、ウォーターカップが汚れている場合は清掃する。 ④敷き料を補充する。 ⑤餌槽にある残飼を竹ぼうき等により除去し、バークリーナーにより収集する。 | ・午前の搾乳終了後に清掃等を行う。 |
| | ・堆肥運搬 | ・トレーラに積載した堆肥をトラクターを使用し、堆肥場に運搬する。 | ・堆肥の移動は、昼給餌前に行う。 |
| | ・昼給餌 | ・餌槽にある残飼を竹ぼうき等により除去し、バークリーナーにより収集する。 ・予め指定された飼料を給与する。 | ・飼料の準備は午前11時20分までに完了し、11時40分までに給餌する。 |
| | ・集乳立会及びバルククーラー清掃 | ・集乳日（隔日）には、運搬業者の搬出作業に立会する。また、集乳後、直ちにバルククーラーを「搾乳の手順」に基づき洗浄する。 | |
| | ・乳牛への薬剤の投与 | ・指定した乳牛について、獣医師から処方された所定の量の薬剤（経口投与できるものに限る。）を投与する。 | ・獣医師から処方された場合のみ、午前、午後の給餌の際に行う。 |
| | | | |
| 新羊豚舎（豚は5～10月のみ、めん羊は通年） | ・餌槽清掃 | ・餌槽にある残飼をほうき、ちり取りにより除去し、一輪車等で所定の場所に廃棄する。 | ・午前、午後の給餌前に行う。 |
| | ・豚房、羊房清掃 | ・豚（羊）房の除糞、通路の清掃はスコップ等で行い、糞等は一輪車等で所定の場所に廃棄する。 | ・午前、午後の給餌中、又は後に行う。 |
| | ・敷料運搬及び補充 | ・羊房について、汚れた敷料を除去し、保管場所から敷料を補充する。 | ・午前、午後の給餌中、又は後に行う。 |
| | ・給餌 | ・予め指定された飼料を計量し、給与する。（朝・夕） ・飲み水を補給する。水槽の水がひどく汚れているときは、水を換える。 | ・朝給餌は7時、夕給餌は15時30分を目途に行う。 |

| | | | |
|--|---------|--------------------|--------------------------|
| | ・健康状態観察 | ・食欲の有無等、健康状態を観察する。 | ・異常がある場合は直ちに業務担当員等へ報告する。 |
|--|---------|--------------------|--------------------------|

○畜舎等管理業務（通年）

No. 11-2

| 業務場所 | 業 務 内 容 | 作 業 手 順 | 作業回数・留意点等 |
|------|---------------------|--|--------------------------------------|
| 各畜舎 | ・除草（施設周辺） | ・施設周辺について草刈機等により、草丈10cm以内を目安に管理する。なお、作業開始前に小石等が飛散しないよう除去しておく。 ・刈り取った草は、ブロワ等で集塵した後、所定の場所に廃棄する。 | ・適宜行う。 ★作業箇所：平面図 1 で表示 |
| | ・除排雪（出入口及び周辺） | ・出入口及びその周辺について、除雪車が処理できない部分の除排雪を行う。（12～3月） ・除雪車が入らない程度の降雪があった場合や、日中に降雪（15cm以上）があった場合は、出入りに支障がないよう適宜除排雪する。 | ・適宜行う。 ★作業箇所：平面図12で表示 |
| | ・緊急時の家畜の移動 | ・緊急な工事等により、家畜を移動する必要がある場合のみ、空いている房又はパドック内に家畜を移動する。 | ・適宜行う。 |
| | ・施設設備等の異常有無確認、小破修繕等 | ・各畜舎内等を巡回し、動物及び施設設備に異常がないかを確認し、異常を発見したときは、直ちに業務担当員等に連絡するとともに、業務報告書に記録する。また、軽微な不具合や小規模な破損の調整、修繕を行う。 | ・17時から17時30分の間で行う。 ★作業箇所：平面図11で表示 |